PAT-NO:

JP353106945A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 53106945 A

TITLE:

HEATING ELEMENT INSTALLING DEVICE

PUBN-DATE:

September 18, 1978

INVENTOR-INFORMATION: NAME ABURA, YOSHIAKI ARAKI, MASAKATSU UEDA, FUMIYA

INT-CL (IPC): H05B003/06, A45D002/36, A45D004/14

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify the installating structure by installing the electrode unit on the installating part of the PTC thermistor through the sleeve and inserting the outside socket onto said electrode electrode and operating conduction.

COPYRIGHT: (C)1978,JPO&Japio

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (1):

PURPOSE: To simplify the installating structure by installing the electrode unit on the installating part of the PTC thermistor through the sleeve and inserting the outside socket onto said electrode electrode and operating conduction.

19日本国特許庁

①特許出願公開:

公開特許公報

昭53-106945

	識別記号		庁内整理番号 6661—58	砂公開 昭和53年(1978)9月18日
A 45 D 2/36		125 E 34	6921—46	発明の数 1
A 45 D 4/14		125 E 39	6921—46	審査請求 未請求

(全 2 頁)

9発熱体取付装置

門真市大字門真1048番地 松下 電工株式会社内

②特 願 昭52—22060

砂発 明 者 上田文也

砂出

②出 願 昭52(1977) 2 月28日

門真市大字門真1048番地 松下

⑩発 明 者 油善紀

電工株式会社内 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地 松下

門真市大字門真1048番地

電工株式会社内

個代 理 人 弁理士 宮井暎夫

同 荒木雅克

明 網 雅

1. 強明の名称

発熱体取付装置

2. 格許請求の範囲

それぞれの一対の貫通孔が一致するように抵抗 発熱体の殺害面に第1かよび第2の有底食具筒の 底面をそれぞれ接触させ、この一対の貫通孔に第 1かよび第2のフランジ付耐熱絶縁弾性スリーブ を互に逆方向から挿入し、この第1かよび第2の フランジ付耐熱絶縁弾性スリーブに同一方向から それぞれ第1かよび第2の電極ポルトを挿通して 反対方向からそれぞれ第1かよび第2の導電性ナットにより圧締した構成の発熱体取付装置。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、ヘアーカーラに内蔵する正特性抵抗弱熱体(PTCヒータ)等の取付装置に関するもので、電気的信頼性を高めるとともに構造を簡単にすることを目的とする。

との発明を適用したペナーカーラの断面図を第 1 図に示す。すなわち、PTC ヒータ(正特性抵抗

るように、ねじの切られた良電導性の金属よりな る電板帯3,省とナット4,ずにより固定されて いる。この2個の金属簡2、2は、PTC ヒータ1 と接触する底部の肉厚が簡部肉厚より大きくなっ ている。とれは、 PTC ヒーメ1 との袋触面の安定 を強度的に補なうことと、 PTC ヒータ1の効率的 な加熱と、ヘアーカーラとしての中央部の害熱効 果を澹足させるためである。 PTC ヒータ1 と金属 簡2,2は各々2個の小孔を有し、その小孔を2 本の電衝棒3,3が貫通している。2本の電極棒 3. 3は、PTCヒータ1に電圧を印加する場合の 接続端子の役目と、PTCヒータ1と2個の金属筒 2. 2を接触固定する水ルトとしての役目を兼ね ている。との場合、耐熱絶縁性の弾性材料よりな る2個のスリープ5、ぢを電極部の上下に挿入す ることにより、どしヒーチュ帝の信用の形象かり 足されている。また、スリープ5,ぢは、材料から くる弾性効果により、 PTC ヒータ1 に無理な圧力

特開昭53-106945(2)

が加わらないように殺債作用を果している。成形に役債であり、PTCヒータ1を成形債であり、PTCヒータ1を成形債債を関している。が関している。が関している。を関している。をでは2個の成形キャップで、がは電極があった。では、ないので使用とした。では、ないので使用としたいので使用としたいので使用としたいので使用といった。

第1図に示すへアーカーラを第2図に示すソケットに接着すると、ソケットの受け金具8、 ぎに電極3、 ざが嵌着され、電極棒3、 ざを介して、PTC ヒータ1 に給電が行なわれる。この場合の電流経路は、電極棒3→金属筒2の底部→ PTC ヒータ1→金属筒2の底部→ナット ゼー電極棒 ざである。

以上のように、との発明の発熱体取付装置は、

それぞれの一対の貫通孔が一致するように抵抗発熱 体の表裏面に第1および第2の有底金属筒の底面 をそれぞれ接触させ、この一対の貫通通に第1な よび第2のフランジ付耐熱絶線弾性スリープを互 に逆方向から挿入し、この第1 および第2のフラ ンジ付耐熱絶縁弾性スリープに同一方向からそれ ぞれ第1 および第2 の電極ポルトを掉通して反対 方向からそれぞれ第1および第2の導電性ナット により圧縮しているため、構造が簡単になるとと もに電気的接触および絶縁状態が信頼性の高いも のとなり、またスリープの弾性により発熱体に異し 常な圧力が加わらないので破損を防止でき、さら. 化2本の電極ポルトを何一方向に突出させて直接 または栓刃を介してソケットまたはコンセントに 接続することもできるので使用上便利となる効果 がある。

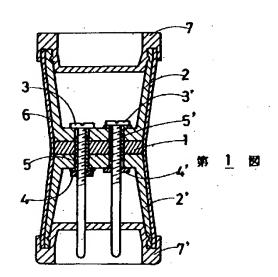
4. 図面の簡単な説明

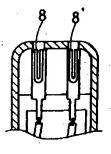
第1 図はこの発明の一実施例の断面図、第2 図は給電用ンケットの断面図である。

1 ··· PTC ヒータ、2、2 ··· 金属筒、3、 3 ··· 電

極棒、4, イーナット、5. ダースリープ

代 理 人 角理士 宫 井 暎 夫





第 2 图